

## 第 53 回経営協議会議事録

- I 日 時 平成 24 年 3 月 27 日 (火) 15 : 00~17:00
- II 会 場 筑波大学東京キャンパス文京校舎 3 階「337 会議室」(東京都文京区大塚 3-29-1)  
及び筑波キャンパス本部棟 5 階「大会議室」(茨城県つくば市天王台 1-1-1)
- III 出席者〔学外委員〕  
秋元勇巳、石田瑞穂、大崎仁、大竹美喜、金澤一郎、柴崎信三、末松安晴、西野虎之介  
〔学内委員〕  
山田信博、清水一彦、赤平昌文、西川潔、米倉実、鈴木久敏、宇川彰、五十嵐徹也、  
東照雄  
〔オブザーバー〕  
五十殿執行役員 (芸術系長)、永田学長補佐室長、今井調整官

## IV 議 題

### 〔審 議〕

- (1) 平成 24 年度年度計画について ----- [審議 1 資料]
- (2) 平成 24 年度余裕金の運用について ----- [審議 2 資料]
- (3) 国立大学法人筑波大学における役員の業績勘案率について ----- [審議 3 資料]
- (4) 法人規則等の改正について ----- [審議 4 資料]
- (5) 職員就業規則等の一部改正について ----- [審議 5 資料]
- (6) 筑波大学危機管理規則の一部改正について ----- [審議 6 資料]
- (7) 国立大学法人筑波大学における顧問制度の整備について ----- [審議 7 資料]

### 〔報 告〕

- (1) 平成 23 年度余裕金の運用実績について ----- [報告 1 資料]
- (2) 平成 22 事業年度決算における剰余金の翌事業年度への繰越しに係る  
承認について ----- [報告 2 資料]
- (3) 平成 23 年度大学教員業績評価の実施結果について ----- [報告 3 資料]
- (4) 平成 24 年度筑波大学役員等について ----- [報告 4 資料]
- (5) 経営協議会学外委員からの提言への対応 (平成 23 年度) について ----- [報告 5 資料]
- (6) 平成 25 年度学年暦の基本的事項について ----- [報告 6 資料]
- (7) 第 95 回教育研究評議会報告 ----- [報告 7 資料]

## V 議 事

### 〔審 議〕

- 1 平成 24 年度年度計画について  
米倉副学長・理事から、審議 1 資料に基づき、平成 24 年度年度計画について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 2 平成 24 年度余裕金の運用について  
米倉副学長・理事から、審議 2 資料に基づき、平成 24 年度余裕金の運用について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。
- 3 国立大学法人筑波大学における役員の業績勘案率について  
鈴木副学長・理事から、審議 3 資料に基づき、国立大学法人筑波大学における役員の業績勘案

率について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

4 法人規則等の改正について

鈴木副学長・理事から、審議 4 資料に基づき、法人規則等の改正について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

5 職員就業規則等の一部改正について

鈴木副学長・理事から、審議 5 資料に基づき、職員就業規則等の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

各委員からの主な発言等は以下のとおり。(以下、○は委員の発言、△は本学側の回答)

○ 経営の観点から重要なのは給与関係である。審議 5 資料の 1 の(1)は人事院勧告対応で、これは従来の慣例のとおりであり理解ができるが、(2)は現在の地域手当の不合理性を解消するということか。

△ 実際に、いい教員や職員を採りたくても、この地域手当ではなかなか来てくれないという実情がある。

○ (3)の学群教育等の充実を図るための給与体系の見直しについては、大学院手当を見直し、その分を共通科目担当手当と学位論文指導手当にあてるということか。

△ 共通科目というどうしても学生数が多くなり、非常に先生方への負荷が高い。そこにインセンティブを与えようとしている。

○ 大学によっては、私立大学の給料が良くなり、国立大学の先生がむしろ私立大学へ引き抜かれる現象が起こっている。特に文系がそうではないかと思うが、筑波大学ではそういうことはないのか。

△ 給与面というよりも、むしろ定年年齢の違いが一番大きいと考えている。筑波大学の場合には今 64 歳まで延伸していて、再来年から 65 歳までになるが、私立大学の場合は 70 歳、長い所では 75 歳というのもある。そうすると早めに私立大に転出したいという方が、最近が目立つ。だが、給与面は確かに私立大より不利な部分もあるかもしれないが、そこは学生の質の違いや研究環境の良さという点で引き留められると思っている。

6 筑波大学危機管理規則の一部改正について

鈴木副学長・理事から、審議 6 資料に基づき、筑波大学危機管理規則の一部改正について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

7 国立大学法人筑波大学における顧問制度の整備について

鈴木副学長・理事から、審議 7 資料に基づき、顧問制度関係規則について説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

〔報告〕

8 平成 23 年度余裕金の運用実績について

米倉副学長・理事から、報告 1 資料に基づき、平成 23 年度余裕金の運用実績について報告があった。

9 平成 22 事業年度決算における剰余金の翌事業年度への繰越しに係る承認について

米倉副学長・理事から、報告 2 資料に基づき、平成 22 事業年度決算における剰余金の翌事業年度への繰越しに係る承認について報告があった。

10 平成 23 年度大学教員業績評価の実施結果について

宇川副学長・理事から、報告 3 資料に基づき、平成 23 年度大学教員業績評価の実施結果について報告があった。

11 平成 24 年度筑波大学役員等について

鈴木副学長・理事から、報告 4 資料に基づき、平成 24 年度の役員等について報告があった。

12 経営協議会学外委員からの提言への対応（平成 23 年度）について

鈴木副学長・理事から、報告 5 資料に基づき、経営協議会学外委員からの提言への対応（平成 23 年度）について報告があった。

なお、本日分の提言への対応については、学長に一任することとされた。

13 平成 25 年度学年暦の基本的事項について

清水副学長・理事から、報告 6 資料に基づき、平成 25 年度学年暦について報告があった。

14 第 95 回教育研究評議会報告

学長から、報告 7 資料に基づき、前回の本会議以降に開催された、第 95 回の教育研究評議会の議事の概要について報告があった。

15 その他

学長から、本年度末で任期満了のため退任される学外委員に対し、謝意が表された。

以 上